

2024.2.24

広報部会（宮西通信）議題

「敬称略」

1. 4月号（4月1日発行）校正

「1ページ」

- ・令和6年度スタートに
「住みよく安心の街宮西連区」（森） 写真あり

「2ページ」「3ページ」「4ページ」

◇ 行事報告

- ・凧づくり教室（1/20）（鈴木・森） 写真あり
- ・ふれあいサロン（2/8）（大塚） 写真あり
- ・宮西文化展（2/11）（森） 写真あり
- ・防災訓練2（2/18）（森） 写真あり
- ・卒業生お茶会（2/21）（野村） 写真あり

◇ お知らせ

- ・ふれあいサロン（4/11）
- ・たけのこ堀（4/21）
- ・宮西少年野球クラブ（吉田）
- ・宮西学習教室（鈴木）

◇ 宮西アラカルト 「桃花祭」（高橋）

.....

◇ 次号持ち越し？

- ・老人クラブだより
- ・女性の会通信
- ・まちなか通信 「認知症 応用編」
- ・一宮市への問い合わせについて

2. その他

◇ 今後の会議日程

- ・3月12日（火）14:30～ 4月号発送準備
- ・3月23日（土）10時～ 6月号構成案

宮西老人クラブだより

第9支部(通称ねんりん会)は宮西連区の最北端にあり、地区は中島通1~5丁目と長島町4・5丁目からなっています。現在、会員は50名です。

ねんりん会が令和5年度に行ったことは、「ことぶき学級への参加(10名)」「クラウンドゴルフなどの運動」「高齢者向けスマホ講座」などありますが、ここでは高齢者向けスマホ講座を紹介します。この講座は愛知県事業で一宮市の支援を受けたもので、今回は初級者を対象として3回開催しました。参加者は合計33名。

講師も次第に熱が入り、受講者も真剣に実習しながら楽しく受講し効果はあったと思われます。



女性の会通信 組織の考察

組織の存続に苦慮する話をよく耳にする。私たち宮西連区女性の会もしかりである。解散という選択も一案であるけれど、その前にいささかの考慮が必要と私は思う。解散はいつでも出来るけれど、新しく立ち上げるには相当の努力を要するであろう。

宮西連区の私たちは運営に努力を惜しんでいない。決して義務的な部分もなく和気あいあいと企画したすべてに情熱を込めてクリアーしている。企画する私たちが明るい雰囲気を提供すれば、間違いなく参加者は集まる。幸か不幸か現状の参加者は決して多くない。

しかし、少なければ、それなりに濃厚なコミュニケーションにつながる。世情を眺め、思いを語り合うだけで、その使命は果たされる。難しく考える必要はない。単的な思考のなかに発見があるもの。

女性の会は、宮西連区にあたえてもらったあたたかなポジションです。何かをみつけましょう。

大島 八重子

<認知症～応用編～> (案)

認知症の基礎編にあったように認知症には介護者を悩ませる「行動・心理症状」が見られることがあります。その中で実際にまちなかが対応した事例を紹介します

○道に迷い、行方不明になる



Aさんは80代前半の男性です。1年前に認知症の診断が出て、介護保険申請を申請、デイサービスに通っています。最近になり外出すると行方不明になり自宅に戻れなくなることがあります。妻は「出かけてはだめ」と止めていましたが、本人は出かけてしまいます

【考えられる対応方法】

1 外出したい行動を止めるのではなく、安全対策を考える

・本人の持ち物に名前、住所を記載した名札や、ヘルプカードを身に付けてもらう。

・GPS付きの携帯電話、一宮市認知症高齢者探索支援サービス

(認知症高齢者個人責任賠償責任保険に加入できます) 介護保険の徘徊対策などの機器を活用する

・介護サービスを増やして、介護関係者で本人を見守る時間を増やす

・症状が強く、落ち着かない状態なら主治医や認知症専門医を受診する。

2 地域で見守り体制を構築する

・本人や家族と介護関係者を交えて、地域の人と「話し合いの場」を設けてみる

(認知症の本人、家族をまじえて地域ケア会議を開催する) 病気を理解して見守る

認知症の人の行動には何か理由がある。行動を止めると落ち着かなくなることもあるよ



○お財布を盗った、お金を取ると言われる



Bさんは70代後半の女性です。娘さんと同居しています。物忘れが始まり、かかりつけ医から認知症の専門病院を紹介、アルツハイマー型認知症の診断が出ました。最近になり娘に「物を盗った」「お金を勝手に持っていく」と言われて娘さんは困っています

【考えられる対応方法】

1 認知症本人の不安感に寄り添う

・本人が物を無くしたことを認めたくない気持ちがある。一緒に物を探して本人に見つけてもらう。少額の金銭を持ってもらい安心してもらう

2 周囲の人の助言や、介護者が悩みを相談する場に出かける

・盗られ妄想が強い場合主治医や認知症専門医を受診する

・認知症介護家族支援教室(一宮市主催)、認知症介護家族交流会(一宮市主催) 認知症介護者個別相談会(一宮市地域包括まちなか主催)に参加して、症状に対して介護者がどのように接したらいいか、アドバイスを受ける

盗られ妄想は身近な人が盗ったと妄想の対象になりやすいから、介護者は距離や時間を空けること



認知症のことだけでなく、介護や生活など相談したいことがあればお気軽に連絡ください



一宮市地域包括支援センターまちなか TEL 0586-85-8672